

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	1	年	
教科	国語	科目			単位数
担当者	1組	本園			
教科書	「伝え合う言葉 中学国語1」(教育出版)		副教材	「国語の学習1」「すらすら基本文法」「アシスト常用漢字」	

○学習到達目標

論理的文章の読解を通し、論理的な物の見方、考え方を身につけ、要旨を見抜く力をつける。
 小説の読解を通し、登場人物の心情を的確に読み取る力をつける。
 詩の読解を通し、修辞技法や言葉の美しさに着目し、詩の世界を鑑賞できる力をつける。
 古文の読解を通して、古典常識や古語単語などを理解し、古文の世界に精通する力をつける。
 作文を通して、自らの思考を的確に表現する力をつける。
 聞いた内容を把握する力、自らの考えを発表できる力をつける。

○教科道徳教育到達目標

活動的・自主的な授業を通じて、国語を正確に表現し的確に理解する能力を育成することで、思考力や想像力を養うとともに、相手の立場に立って、伝えあう力を育成する。

○学習方法

説明的文章・論理的文章の各段落の要点をとらえ、文章全体の要旨をとらえる。
 小説の中の「人物・情景描写」や「会話文」から、登場人物の心情を読み取る。
 古典常識・古語単語を理解し、古文を読解する。
 物語仕立て、人物・情景描写を作文に盛り込み、結果のみに偏らない作文を創作する。
 テキストを用い、漢字・ことわざ・慣用句・四字熟語に精通する。
 毎日プリントにおいて、日々文章問題を解く。

○グレード別授業の基準

○指導計画(学習内容・考查等の予定)

1学期期末考查
 ・【小説】「音を追いかけて」
 ・【説明】「笑顔という魔法」
 ・言葉の単位
 ・漢字等

2学期期末考查
 ・【小説】「オツベルと象」
 ・【古文】「竹取物語」
 ・漢字等

学年末考查
 ・【説明】「電子レンジの発想」
 ・【小説】「少年の日の思い出」
 ・漢字等

○評価方法

各学期ごとに、期末考查・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考查50% ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	2年	
教科	国語	科目		単位数
担当者	1組	落合		
教科書	「伝え合う言葉 中学国語2」(教育出版)		副教材	「国語の学習2」「すらすら基本文法」「アシスト常用漢字」

○学習到達目標

論理的文章の読解を通し、論理的な物の見方、考え方を身につけ、要旨を見抜く力をつける。
 小説の読解を通し、登場人物の心情を的確に読み取る力をつける。
 詩の読解を通し、修辞技法や言葉の美しさに着目し、詩の世界を鑑賞できる力をつける。
 古文の読解を通して、古典常識や古語単語などを理解し、古文の世界に精通する力をつける。
 作文を通して、自らの思考を的確に表現する力をつける。
 聞いた内容を把握する力、自らの考えを発表できる力をつける。

○教科道徳教育到達目標

活動的・自主的な授業を通じて、国語を正確に表現し的確に理解する能力を育成することで、思考力や想像力を養うとともに、相手の立場に立って、伝えあう力を育成する。

○学習方法

説明的文章・論理的文章の各段落の要点をとらえ、文章全体の要旨をとらえる。
 小説の中の「人物・情景描写」や「会話文」から、登場人物の心情を読み取る。
 古典常識・古語単語を理解し、古文を読解する。
 物語仕立て、人物・情景描写を作文に盛り込み、結果のみに偏らない作文を創作する。
 テキストを用い、漢字・ことわざ・慣用句・四字熟語に精通する。
 毎日プリントにおいて、日々文章問題を解く。

○グレード別授業の基準

○指導計画(学習内容・考查等の予定)

- 1学期期末考查
- ・【詩】「虹の足」
 - ・【小説】「タオル」
 - ・文法
 - ・漢字等
- 2学期期末考查
- ・【評論】「ガイアの知性」
 - ・【古文】「平家物語」
 - ・文法
 - ・漢字等
- 学年末考查
- ・漢文
 - ・小説「走れメロス」
 - ・文法
 - ・漢字等

○評価方法

各学期ごとに、期末考查・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考查50% ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	3年	
教科	国語	科目		単位数
担当者	1組	本園		
教科書	「伝え合う言葉 中学国語3」(教育出版)		副教材	「国語の学習3」「すらすら基本文法」「アシスト常用漢字」

○学習到達目標

論理的文章の読解を通し、論理的な物の見方、考え方を身につけ、要旨を見抜く力をつける。
 小説の読解を通し、登場人物の心情を的確に読み取る力をつける。
 詩の読解を通し、修辞技法や言葉の美しさに着目し、詩の世界を鑑賞できる力をつける。
 古文の読解を通して、古典常識や古語単語などを理解し、古文の世界に精通する力をつける。
 作文を通して、自らの思考を的確に表現する力をつける。
 聞いた内容を把握する力、自らの考えを発表できる力をつける。

○教科道徳教育到達目標

活動的・自主的な授業を通じて、国語を正確に表現し的確に理解する能力を育成することで、思考力や想像力を養うとともに、相手の立場に立って、伝えあう力を育成する。

○学習方法

説明的文章・論理的文章の各段落の要点をとらえ、文章全体の要旨をとらえる。
 小説の中の「人物・情景描写」や「会話文」から、登場人物の心情を読み取る。
 古典常識・古語単語を理解し、古文を読解する。
 物語仕立て、人物・情景描写を作文に盛り込み、結果のみに偏らない作文を創作する。
 テキストを用い、漢字・ことわざ・慣用句・四字熟語に精通する。
 毎日プリントにおいて、日々文章問題を解く。

○グレード別授業の基準

○指導計画(学習内容・考查等の予定)

- 1学期期末考查
- ・【詩】「春に」
 - ・【評論】『「新しい博物学」の時代』
 - ・文法
 - ・漢字等
- 学年末考查
- ・【古文】「おくのほそ道」
 - ・【小説】「故郷」
 - ・文法
 - ・漢字等

○評価方法

各学期ごとに、期末考查・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考查50% ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階				
	評価項目	A	B	C	D
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テスト 文法テスト ことわざ、慣用句、四字熟語テスト 単元別テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 各小テストの平均が80%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各小テストの平均が65%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各小テストの平均が50%以上である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各小テストの平均が50%未満である。
思考力・判断力・表現力等	<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと <p>活動ごとに配信される評価シートを基に評価する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、社会生活の中から課題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 自分の考えが明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係に注意して、構成を考えることができる。 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができる。 互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて捉え、要旨を把握することができる。 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて捉えることができる。 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 事実と感想、意見などとの関係を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒との協同の中心となり、全体の理解を深める役割を担う。 発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見と比較し、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合う。 発問に対して意欲的に考え、発言する。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとする。 発問に対して意欲的に考え、発言しようとする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において他の生徒と協同し、意欲的に理解し合おうとしない。 発問に対して意欲的に考え、発言しようとする。 発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ。
	授業準備	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。